

予算委員会

委員一覧（45名）

委員長	前田 武志（民主）	小見山 幸治（民主）	塚田 一郎（自民）
理事	植松 恵美子（民主）	行田 邦子（民主）	西田 昌司（自民）
理事	川上 義博（民主）	榛葉 賀津也（民主）	長谷川 岳（自民）
理事	水戸 将史（民主）	徳永 エリ（民主）	福岡 資麿（自民）
理事	森 ゆうこ（民主）	友近 聡朗（民主）	丸山 和也（自民）
理事	磯崎 陽輔（自民）	中谷 智司（民主）	山崎 力（自民）
理事	猪口 邦子（自民）	難波 奨二（民主）	山田 俊男（自民）
理事	衛藤 晟一（自民）	西村 まさみ（民主）	山谷 えり子（自民）
理事	加藤 修一（公明）	吉川 沙織（民主）	石川 博崇（公明）
理事	小野 次郎（みん）	米長 晴信（民主）	草川 昭三（公明）
	有田 芳生（民主）	愛知 治郎（自民）	長沢 広明（公明）
	石橋 通宏（民主）	磯崎 仁彦（自民）	桜内 文城（みん）
	一川 保夫（民主）	片山 さつき（自民）	大門 実紀史（共産）
	梅村 聡（民主）	川口 順子（自民）	片山 虎之助（日改）
	金子 恵美（民主）	佐藤 ゆかり（自民）	福島 みずほ（社民）

（23.1.28 現在）

（1）審議概観

第177回国会において、本委員会に付託された案件は、平成二十三年度総予算3案、平成二十三年度第1次補正予算3案及び平成二十三年度第2次補正予算2案であった。平成二十三年度総予算3案は否決されたが、憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決（可決）が国会の議決となった。また、平成二十三年度第1次補正予算3案及び平成二十三年度第2次補正予算2案はいずれも可決された。なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

平成二十三年度総予算 平成二十三年度総予算3案は、1月24日国会に提出され、3月29日に成立した。

予算委員会では、3月4日、財務大臣より趣旨説明を聴取した後、同日より質疑に入り、東日本大震災による審議の中断を挟みながら10日には社会保障に関す

る集中審議を、23日には公聴会を開催し、また、24日及び25日には関係委員会に審査を委嘱し、29日には締めくくり質疑を行い、討論の後、賛成少数をもって否決した。なお、予備審査中の2月17日及び18日の2日間、大分県及び福岡県に委員を派遣して現地調査を行った。

予算委員会の審議では、当初、社会保障と税の一体改革、TPPへの取り組み方、マニフェストの見直し等について多くの議論が行われたが、3月11日の東日本大震災後は、被災地の支援、復旧・復興への取り組み、震災の経済への影響などを中心に議論が行われた。

まず、東日本大震災について、「巨大地震、大津波、原発事故など未曾有の大災害となったが、被災地の支援、復旧・復興にどう取り組むのか。震災の日本経済への影響はどうか」との質疑があり、これに対し、菅内閣総理大臣及び関係各大

臣より、被災地への対応については、「かつて例のない大災害であり、直ちに激甚災害に指定した。これからも必要な対策を適時適切に打ち出し、財政が制約になって支障を来すことがないように、万全の措置を講じていきたい。原発事故に対しては、国民の健康を第一に、将来のリスク管理に向けて、最大限の緊張感を持って取り組んでいきたい。今後、緊急的な対応と本格的な復興を段階的に実施していくことが必要と考えるが、当面、二十二年度の予備費、そして二十三年度予算が成立すれば、予備費に加え、自衛隊活動費や特別地方交付税等を活用していく。さらに、被害の現状把握に努め、速やかに補正予算の編成、提出を行いたい。日本経済は、全体としては健全性を維持しており、阪神・淡路大震災を例に考えても、それほど大きなマイナス成長にはならないとみている。ただし、今回、電力供給に影響が出ており、電力不足は日本経済にとって深刻な問題になると考えている」旨の答弁があった。

次に、「二十三年度予算の基本的考え方は何か。震災対策をどのように取り込んでいくのか」との質疑があり、これに対し、菅内閣総理大臣及び関係各大臣より、「二十三年度予算は、雇用と成長を一番に念頭に置いて編成を行ったものであり、介護、子育てなど潜在的に需要のある分野で雇用を生み出すことによって、成長を推進することとしている。国民生活が第一との理念から、様々な制約の下、ベストの予算を編成したと思っていたが、震災により状況が変わることとなった。復旧・復興財源の検討に際しては、政策の優先順位をしっかりと見極め、組替えを含めて、与野党の議論を踏まえながら、対応していきたい」旨の答弁があった。

このほか、社会保障と税の一体改革、主婦の年金救済問題、ＴＰＰへの取り組み方、尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件、防衛省の事務次官通達問題、政治資金の在り方、中東情勢、在日米軍基地問題、地域自主戦略交付金、雇用対策、高齢者対策、国民健康保険の未納問題、医薬品に対する規制の在り方、がん対策、アスベスト被害者の救済、花粉症対策、農業・林業政策、インフラの輸出、社会資本整備の在り方、住宅対策、地球温暖化対策、コンテンツ産業の振興、連続児童誘拐・殺人事件への対応等について質疑が行われた。

平成二十三年度補正予算 平成二十三年度補正予算３案（第１号、特第１号及び機第１号）は、４月２８日国会に提出され、５月２日に成立した。

予算委員会では、衆議院からの送付の後、５月１日、財務大臣から補正予算３案の趣旨説明を聴取し、同日から質疑が行われ、２日、討論の後、可決された。

主な質疑の内容は以下のとおりである。「東日本大震災からの復旧、復興に向け、今回の補正予算の位置付け、今後の取り組みについて、どう考えているのか。今回、国債を発行しなかった理由は何か。年金臨時財源の補正予算への転用が年金財政に与える影響はどうか」との質疑があり、これに対し、菅内閣総理大臣及び関係各大臣より、「本補正予算は、震災からの早期復旧を基本に考えたもので、特別措置による補助率のかさ上げを行い、災害復旧事業費をはじめ、年度内に支出が見込まれるものを計上した。現在、復興構想会議で、復興に向けての議論が進められており、６月末をめどに結論を得ることとしている。復旧、復興と財政規

律の維持との両立が大切と考えており、今後の復興にはかなりの財政出動が見込まれることから、補正予算の編成に際しては、しっかりとした青写真をつくり、財源問題を含め検討していきたい。年金臨時財源の補正予算への活用については、税制抜本改革により財源を確保することで、年金財政に不安を生じさせることがないように、その長期的安定を確保していきたい」旨の答弁があった。

このほか、補正予算に関する三党合意の内容、仮設住宅の早期整備、復興ビジョン策定への住民参加、義援金の配分状況、被災者の二重債務問題、復興に向けた法整備と組織の在り方、原発事故への対応と総理のリーダーシップ、原発事故被害の補償問題、食品の出荷及び摂取制限の在り方、学校の年間放射線量基準の見直し、再生可能エネルギー導入の促進等について質疑が行われた。

平成二十三年度第2次補正予算 平成二十三年度第2次補正予算2案（第2号及び特第2号）は、7月15日国会に提出され、25日に成立した。

予算委員会では、衆議院からの送付の後、7月21日、財務大臣から補正予算2案の趣旨説明を聴取し、同日から質疑が行われ、25日、討論の後、可決された。

主な質疑の内容は以下のとおりである。

「今回、補正予算を提出した理由は何か。本格的復興に向けた第3次補正予算の準備状況はどうか。震災を受け、財政運営戦略の見直しにどう取り組むのか」との質疑があり、これに対し、菅内閣総理大臣及び関係各大臣より、「本補正予算は、東日本大震災の復旧に際し、緊急・必要なもののうち、第1次補正予算に間に合わなかった経費を盛り込んだものである。

本格的な復興には大規模な予算が必要であり、第3次補正予算については、復興構想会議の提言を踏まえて、復興の基本方針をまとめ、財源の在り方も含め、精力的に検討していきたい。財政運営戦略に基づく中期財政フレームについては、年央に見直すこととしており、今年は、社会保障と税の一体改革の成案を踏まえ、さらに復興財源の検討の後に、鋭意、取り組んでまいりたい」旨の答弁があった。

質疑は、このほか、脱原発依存発言と今後のエネルギー政策、原発事故被害への損害賠償、原発輸出の在り方、原発の再開問題、牛肉汚染問題への対応、がれき処理への対応とアスベスト対策、仮設住宅の整備状況、被災者の二重債務問題、被災地域の雇用確保策、災害救助への取り組み、被災医療機関への支援、予備費の在り方、北朝鮮拉致問題、政治資金をめぐる諸問題、薬害イレッサ訴訟への政府の対応等について質疑が行われた。

[国政調査等]

予算の執行状況に関する調査として、4月18日に東日本大震災に関する集中審議が、4月25日及び5月13日に東日本大震災・原発事故に関する集中審議が、5月20日に東日本大震災・原発事故等に関する集中審議が、5月27日に原発事故等に関する参考人質疑が行われたほか、6月3日、10日、7月7日及び8月11日には懸案事項に関する集中審議が行われた。

質疑では、総理のリーダーシップと危機管理への認識、内閣不信任案をめぐる総理発言の真意、行政権行使の在り方、復興に向けた与野党協力体制の構築、防災担当大臣の兼務問題、前復興担当大臣に対する総理の任命責任、東日本大震災・原発事故に対する政府の体制、復興院の

創設、平成二十三年度第2次補正予算の提出時期、災害援助の自衛隊編成の必要性、各国への情報提供の在り方、被災自治体に対する国の支援策、仮設住宅の早期整備、高齢者・障害者に配慮した仮設住宅の建設、がれき処理への対応、義援金等の配分状況、被災者の二重債務問題、被災した育児世帯への支援、被災孤児への対応、震災関連死の防止、被災地での医療体制の整備、防波堤・港湾整備計画の方針、水道管の復旧と耐震化への取組み、震災時の情報伝達体制、東北地方の高速道路無料化、被災地における水産業等の支援策、東北地方の観光業の現状と支援策、被災地で検案を行う歯科医師への協力体制、原発事故への対応状況、原発事故収束に向けた工程表と長期的見通し、原発事故の国際評価尺度を引き上げた理由、原発事故による避難住民への対

応、原発事故作業員の健康被害、原発事故被害の補償問題、原発事故に対する東京電力の責任、東京電力に対する天下り、学校における放射線量基準の見直し、原発事故周辺住民への内部被ばく検査の必要性、風評被害対策、食料品の放射能汚染問題、放射能汚染のがれき処理問題、浜岡原発停止要請の経緯と根拠、原発の再稼働、今後のエネルギー政策、電気事業者の発送電分離と地域独占撤廃の必要性、社会保障と税の一体改革、外交の在り方、若年者雇用対策と子育て支援、子ども手当の見直し、政治資金をめぐる諸問題、教員の労働組合活動、教科書の記述内容の在り方、領土問題、諫早湾干拓事業に対する政府の対応、国家公務員給与の引き下げ、経済産業省職員への退職勧奨問題、熱中症対策等について質疑が行われた。

(2) 委員会経過

○平成23年1月28日(金) (第1回)

- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
- 平成二十三年度総予算審査のため委員派遣を行うことを決定した。

○平成23年3月4日(金) (第2回)

— 基本的質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十三年度一般会計予算(衆議院送付)
平成二十三年度特別会計予算(衆議院送付)
平成二十三年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について野田財務大臣から趣旨説明を聴いた後、菅内閣総理大臣、野田財務大臣、枝野内閣官房長官、細川厚生労働大臣、大島国土交通大臣、前原外務大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、与謝野国務大臣、鹿野

農林水産大臣、海江田経済産業大臣、玄葉国務大臣、北澤防衛大臣、自見内閣府特命担当大臣、片山内閣府特命担当大臣、藤井内閣官房副長官、橋本参議院事務総長及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

小坂憲次君(自民)、※山本一太君(自民)、
※林芳正君(自民)、※世耕弘成君(自民)、
※森まさこ君(自民)、※西田昌司君(自民)、
平田健二君(民主) ※関連質疑

○平成23年3月7日(月) (第3回)

— 基本的質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十三年度一般会計予算(衆議院送付)
平成二十三年度特別会計予算(衆議院送付)
平成二十三年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について菅内閣総理大臣、中野国務

大臣、細川厚生労働大臣、大島国土交通大臣、野田財務大臣、北澤防衛大臣、与謝野国務大臣、玄葉国務大臣、松本国務大臣、鹿野農林水産大臣、自見国務大臣、高木文部科学大臣、海江田経済産業大臣、枝野内閣官房長官、片山国務大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、福山内閣官房副長官、伴野外務副大臣、松本外務副大臣、櫻井財務副大臣、小林厚生労働大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁山口廣秀君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

平田健二君（民主）、※一川保夫君（民主）、※植松恵美子君（民主）、※吉川沙織君（民主）、白浜一良君（公明）、※松あきら君（公明）、水野賢一君（みんな）、山下芳生君（共産）、片山虎之助君（日改）、福島みずほ君（社民） ※関連質疑

○平成23年3月8日（火）（第4回）

— 一般質疑 —

- 平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について菅内閣総理大臣、中野国家公安委員会委員長、江田法務大臣、枝野国務大臣、高木文部科学大臣、玄葉国務大臣、海江田経済産業大臣、鹿野農林水産大臣、与謝野国務大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、野田財務大臣、大島国土交通大臣、細川厚生労働大臣、片山国務大臣、松本環境大臣、北澤防衛大臣、松本外務副大臣、篠原農林水産副大臣、伴野外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

有田芳生君（民主）、※安井美沙子君（民主）、片山さつき君（自民）、※山田俊男君（自民）、山谷えり子君（自民）、加藤修一君（公明）、小野次郎君（みんな）、紙智子君（共産）、片山虎之助君（日改）、又市征治君（社民） ※関連質疑

- 平成二十三年度総予算審査のため公聴会開催

承認要求書を提出することを決定した。

○平成23年3月9日（水）（第5回）

— 一般質疑 —

- 派遣委員から報告を聴いた。
- 平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について野田財務大臣、大島国土交通大臣、細川厚生労働大臣、片山総務大臣、北澤防衛大臣、玄葉国務大臣、鹿野農林水産大臣、海江田経済産業大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、高木文部科学大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、松本環境大臣、枝野国務大臣、三井国土交通副大臣、池田経済産業副大臣、松本外務副大臣、伴野外務副大臣、末松内閣府副大臣、小川防衛副大臣、阿久津内閣府大臣政務官、菊田外務大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳永エリ君（民主）、※大野元裕君（民主）、磯崎陽輔君（自民）、※宇都隆史君（自民）、長谷川岳君（自民）、長沢広明君（公明）、桜内文城君（みんな）、田村智子君（共産）、荒井広幸君（日改）、山内徳信君（社民）

※関連質疑

○平成23年3月10日（木）（第6回）

— 一般質疑・集中審議（社会保障） —

- 平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について菅内閣総理大臣、海江田経済産業大臣、玄葉国務大臣、野田財務大臣、大島国土交通大臣、細川厚生労働大臣、与謝野国務大臣、枝野内閣官房長官、松本環境大臣、片山総務大臣、小宮山厚生労働副大臣、大塚厚生労働副大臣、林文部科学大臣政務官、岡本厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

- ・一般質疑

〔質疑者〕

西村まさみ君（民主）、※小見山幸治君（民主） ※関連質疑

・集中審議（社会保障）

〔質疑者〕

川合孝典君（民主）、世耕弘成君（自民）、
※宮沢洋一君（自民）、草川昭三君（公明）、
川田龍平君（みんな）、田村智子君（共産）、
片山虎之助君（日改）、吉田忠智君（社民）

※関連質疑

○平成23年3月22日（火）（第7回）

― 一般質疑 ―

- 平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について松本外務大臣、野田財務大臣、細川厚生労働大臣、大島国土交通大臣、高木文部科学大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、大塚厚生労働副大臣、筒井農林水産副大臣、鈴木総務副大臣、東内閣府副大臣、池口国土交通副大臣、三井国土交通副大臣、笹木文部科学副大臣、中山経済産業大臣政務官、樋高環境大臣政務官、広田防衛大臣政務官、森田総務大臣政務官、田嶋経済産業大臣政務官、逢坂総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

以上3案について沖縄及び北方問題に関する特別委員会、政府開発援助等に関する特別委員会及び消費者問題に関する特別委員会については3月24日午前の半日間、内閣委員会、総務委員会、法務委員会、外交防衛委員会、財政金融委員会、文教科学委員会、厚生労働委員会、農林水産委員会、経済産業委員会、国土交通委員会及び環境委員会については3月25日の1日間、当該委員会の所管に係る部分の審査を委嘱することを決定した。

〔質疑者〕

岩城光英君（自民）、※佐藤正久君（自民）、森まさこ君（自民）、※熊谷大君（自民）、高階恵美子君（自民）、※佐藤信秋君（自民）、渡辺孝男君（公明）、※浜田昌良君（公明）、中西健治君（みんな）、紙智子君（共産）、

中山恭子君（日改）、福島みずほ君（社民）

※関連質疑

○平成23年3月23日（水）（第8回）

- 平成二十三年度総予算審査のための公聴会開會変更承認要求書を提出することを決定した。

○平成23年3月23日（水）（公聴会 第1回）

- 平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について次の公述人から意見を聴き質疑を行った。

〔公述人〕

日本金融財政研究所所長 菊池英博君
京都大学教授 藤井聡君
東北福祉大学教授 岩淵勝好君
元外務省国際情報局長・元防衛大学校教授 孫崎亨君
拓殖大学海外事情研究所長・同大学院教授 森本敏君
東京外国語大学大学院総合国際学教授 酒井啓子君

- ・公述人（菊池英博君、藤井聡君、岩淵勝好君）に対する質疑（経済・財政・社会保障）

〔質疑者〕

川上義博君（民主）、福岡資麿君（自民）、加藤修一君（公明）、桜内文城君（みんな）、大門実紀史君（共産）、片山虎之助君（日改）、吉田忠智君（社民）

- ・公述人（孫崎亨君、森本敏君、酒井啓子君）に対する質疑（外交・安全保障）

〔質疑者〕

森ゆうこ君（民主）、塚田一郎君（自民）、石川博崇君（公明）、小野次郎君（みんな）、井上哲士君（共産）、片山虎之助君（日改）、山内徳信君（社民）

○平成23年3月28日（月）（第9回）

― 一般質疑 ―

- 各委員長からの委嘱審査報告書は、これを会議録に掲載することに決定した。

- 平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）

平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について野田財務大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、高木文部科学大臣、細川厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、玄葉国務大臣、池田経済産業副大臣、高橋外務副大臣、筒井農林水産副大臣、東内閣府副大臣、大塚厚生労働副大臣、末松内閣府副大臣、鈴木総務副大臣、池口国土交通副大臣、樋高環境大臣政務官、田嶋経済産業大臣政務官、和田内閣府大臣政務官、中山経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

猪口邦子君（自民）、塚田一郎君（自民）、佐藤ゆかり君（自民）、※磯崎仁彦君（自民）、長沢広明君（公明）、※横山信一君（公明）、小熊慎司君（みん）、大門実紀史君（共産）、中山恭子君（日改）、福島みずほ君（社民）

※関連質疑

○平成23年3月29日（火）（第10回）

— 締めくくり質疑 —

- 平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について菅内閣総理大臣、海江田経済産業大臣、片山総務大臣、松本内閣府特命担当大臣、細川厚生労働大臣、野田財務大臣、枝野内閣官房長官、高木文部科学大臣、中野国家公安委員会委員長、自見内閣府特命担当大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも否決した。

〔質疑者〕

磯崎陽輔君（自民）、加藤修一君（公明）、小野次郎君（みん）、大門実紀史君（共産）、片山虎之助君（日改）、福島みずほ君（社民）

（平成二十三年度総予算）

賛成会派 民主

反対会派 自民、公明、みん、共産、日改、社民

○平成23年4月18日（月）（第11回）

— 集中審議（東日本大震災） —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、東日本大震災に関する件について菅内閣総理大臣、松本国務大臣、片山総務大臣、大島国土交通大臣、鹿野農林水産大臣、細川厚生労働大臣、海江田国務大臣、枝野内閣官房長官、高木文部科学大臣、松本外務大臣、北澤防衛大臣、野田財務大臣、政府参考人及び参考人東京電力株式会社取締役社長清水正孝君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

藤原良信君（民主）、※武内則男君（民主）、脇雅史君（自民）、※岩城光英君（自民）、※愛知治郎君（自民）、加藤修一君（公明）、小野次郎君（みん）、大門実紀史君（共産）、片山虎之助君（日改）、福島みずほ君（社民）

※関連質疑

○平成23年4月25日（月）（第12回）

— 集中審議（東日本大震災・原発事故） —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、東日本大震災・原発事故に関する件について菅内閣総理大臣、海江田国務大臣、大島国土交通大臣、松本外務大臣、松本国務大臣、細川厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、高木文部科学大臣、福山内閣官房副長官、大塚厚生労働副大臣、参考人東京電力株式会社取締役社長清水正孝君及びIAC上級原子力コンサルタント佐藤暁君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

増子輝彦君（民主）、猪口邦子君（自民）、※佐藤信秋君（自民）、※福岡資麿君（自民）、浜田昌良君（公明）、小熊慎司君（みん）、田村智子君（共産）、舩添要一君（日改）、吉田忠智君（社民）

※関連質疑

○平成23年5月1日（日）（第13回）

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十三年度一般会計補正予算（第1号）

（衆議院送付）

平成二十三年度特別会計補正予算（特第1号）

（衆議院送付）

平成二十三年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について野田財務大臣から趣旨説明を聴いた後、菅内閣総理大臣、大島国土交通大臣、自見内閣府特命担当大臣、海江田経済産業大臣、鹿野農林水産大臣、玄葉国務大臣、野田財務大臣、細川厚生労働大臣、枝野内閣官房長官、与謝野国務大臣、高木文部科学大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、松本国務大臣、片山総務大臣、中野国家公安委員会委員長、北澤防衛大臣、福山内閣官房副長官、櫻井財務副大臣、大塚厚生労働副大臣、政府参考人及び参考人東京電力株式会社取締役社長清水正孝君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

野村哲郎君（自民）、※藤井基之君（自民）、※島尻安伊子君（自民）、森ゆうこ君（民主）、※川上義博君（民主）、木庭健太郎君（公明）、小野次郎君（みん）、紙智子君（共産）、片山虎之助君（日改）、福島みずほ君（社民） ※関連質疑

○平成23年5月2日（月）（第14回）

— 締めくくり質疑 —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十三年度一般会計補正予算（第1号）

（衆議院送付）

平成二十三年度特別会計補正予算（特第1号）

（衆議院送付）

平成二十三年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について菅内閣総理大臣、鹿野農林水産大臣、野田財務大臣、海江田経済産業大臣、枝野内閣官房長官、高木文部科学大臣、政府参考人及び参考人東京電力株式会社取締役社長清水正孝君に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

林芳正君（自民）、長沢広明君（公明）、桜

内文城君（みん）、大門実紀史君（共産）、中山恭子君（日改）、福島みずほ君（社民）（平成二十三年度補正予算）

賛成会派 民主、自民、公明、みん、共産、日改、社民

反対会派 なし

○平成23年5月13日（金）（第15回）

— 集中審議（東日本大震災・原発事故） —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○予算の執行状況に関する調査のうち、東日本大震災・原発事故に関する件について菅内閣総理大臣、海江田経済産業大臣、枝野内閣官房長官、大島国土交通大臣、北澤防衛大臣、高木文部科学大臣、野田財務大臣、松本国務大臣、細川厚生労働大臣、片山総務大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、政府参考人、参考人東京電力株式会社取締役社長清水正孝君及び株式会社独立総合研究所代表取締役社長・原子力委員会・専門委員青山繁晴君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

今野東君（民主）、山本順三君（自民）、※衛藤晟一君（自民）、※川口順子君（自民）、山本博司君（公明）、中西健治君（みん）、大門実紀史君（共産）、藤井孝男君（日改）、福島みずほ君（社民） ※関連質疑

○平成23年5月20日（金）（第16回）

— 集中審議（東日本大震災・原発事故等） —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○予算の執行状況に関する調査のうち、東日本大震災・原発事故等に関する件について菅内閣総理大臣、大島国土交通大臣、細川厚生労働大臣、片山総務大臣、野田財務大臣、鹿野農林水産大臣、高木文部科学大臣、海江田国務大臣、中野国家公安委員会委員長、松本国務大臣、参考人中部電力株式会社代表取締役社長社長執行役員水野明久君及び東京電力株式会社取締役副社長武藤栄君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

平山幸司君（民主）、牧野たかお君（自民）、※佐藤正久君（自民）、※石井みどり君（自

民)、魚住裕一郎君(公明)、水野賢一君(みんな)、田村智子君(共産)、片山虎之助君(日改)、吉田忠智君(社民) ※関連質疑

○平成23年5月27日(金) (第17回)

— 参考人に対する質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、原発事故等に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

琉球大学名誉教授 矢ヶ崎克馬君
一般社団法人日本原子力技術協会最高顧問
石川迪夫君
長崎大学特任教授 柴田義貞君
京都医療科学大学教授 大野和子君

[質疑者]

米長晴信君(民主)、長谷川岳君(自民)、
加藤修一君(公明)、小野次郎君(みんな)、
山下芳生君(共産)、片山虎之助君(日改)、
福島みずほ君(社民)

○平成23年6月3日(金) (第18回)

— 集中審議(懸案事項) —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、懸案事項に関する件について菅内閣総理大臣、海江田経済産業大臣、枝野内閣官房長官、高木文部科学大臣、野田財務大臣、蓮舫国務大臣、松本内閣府特命担当大臣、細川厚生労働大臣、片山総務大臣、鹿野農林水産大臣、鈴木総務副大臣、三井国土交通副大臣、東内閣府副大臣、樋高環境大臣政務官、政府参考人、参考人財団法人原子力安全技術センター理事長数土幸夫君及び日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

[質疑者]

舟山康江君(民主)、山本一太君(自民)、
※森まさこ君(自民)、※西田昌司君(自民)、
谷合正明君(公明)、小野次郎君(みんな)、
紙智子君(共産)、荒井広幸君(日改)、
福島みずほ君(社民) ※関連質疑

○平成23年6月10日(金) (第19回)

— 集中審議(懸案事項) —

- 参考人の出席を求めることを決定した。

- 予算の執行状況に関する調査のうち、懸案事項に関する件について菅内閣総理大臣、野田財務大臣、鹿野農林水産大臣、松本環境大臣、細川厚生労働大臣、海江田経済産業大臣、高木文部科学大臣、枝野内閣官房長官、片山総務大臣、江田法務大臣、自見内閣府特命担当大臣、大塚厚生労働副大臣、末松内閣府副大臣、政府参考人及び参考人東京電力株式会社取締役副社長武藤栄君に対し質疑を行った。

[質疑者]

長浜博行君(民主)、林芳正君(自民)、※
義家弘介君(自民)、※丸川珠代君(自民)、
山本香苗君(公明)、※横山信一君(公明)、
桜内文城君(みんな)、※小野次郎君(みんな)、
大門実紀史君(共産)、片山虎之助君(日改)、
福島みずほ君(社民) ※関連質疑

○平成23年7月7日(木) (第20回)

— 集中審議(懸案事項) —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、懸案事項に関する件について菅内閣総理大臣、海江田経済産業大臣、鹿野農林水産大臣、細野国務大臣、高木文部科学大臣、片山総務大臣、江田国務大臣、野田財務大臣、細川厚生労働大臣、大畠国土交通大臣、枝野内閣官房長官、政府参考人及び参考人東京電力株式会社取締役会長勝俣恒久君に対し質疑を行った。

[質疑者]

轟木利治君(民主)、※大久保潔重君(民主)、
磯崎陽輔君(自民)、※片山さつき君(自民)、
※金子原二郎君(自民)、※佐藤ゆかり君(自民)、
荒木清寛君(公明)、※秋野公造君(公明)、
水野賢一君(みんな)、井上哲士君(共産)、
片山虎之助君(日改)、福島みずほ君(社民) ※関連質疑

○平成23年7月21日(木) (第21回)

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十三年度一般会計補正予算(第2号)(衆議院送付)
平成二十三年度特別会計補正予算(特第2号)

(衆議院送付)

以上両案について野田財務大臣から趣旨説明を聴いた後、菅内閣総理大臣、大島国土交通大臣、鹿野農林水産大臣、野田財務大臣、海江田経済産業大臣、細野国務大臣、中野国務大臣、江田国務大臣、枝野国務大臣、細川厚生労働大臣、平野内閣府特命担当大臣、北澤防衛大臣、玄葉国務大臣、高木文部科学大臣、片山総務大臣、櫻井財務副大臣、伴野外務副大臣、政府参考人及び参考人北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長増元照明君に対し質疑を行った。

[質疑者]

林芳正君(自民)、※山谷えり子君(自民)、
※岸信夫君(自民)、※塚田一郎君(自民)、
水戸将史君(民主)、※室井邦彦君(民主)

※関連質疑

○平成23年7月22日(金)(第22回)

— 総括質疑 —

○平成二十三年度一般会計補正予算(第2号)

(衆議院送付)

平成二十三年度特別会計補正予算(特第2号)

(衆議院送付)

以上両案について菅内閣総理大臣、海江田経済産業大臣、高木文部科学大臣、鹿野農林水産大臣、細川厚生労働大臣、大島国土交通大臣、平野国務大臣、野田財務大臣、枝野内閣官房長官、片山総務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

渡辺孝男君(公明)、※石川博崇君(公明)、
小野次郎君(みんな)、山下芳生君(共産)、
片山虎之助君(日改)、吉田忠智君(社民)

※関連質疑

○平成23年7月25日(月)(第23回)

— 締めくり質疑 —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十三年度一般会計補正予算(第2号)

(衆議院送付)

平成二十三年度特別会計補正予算(特第2号)

(衆議院送付)

以上両案について菅内閣総理大臣、片山総務

大臣、自見国務大臣、鹿野農林水産大臣、細野国務大臣、平野国務大臣、枝野内閣府特命担当大臣、海江田経済産業大臣、細川厚生労働大臣、野田財務大臣、松本外務大臣、高木文部科学大臣、玄葉国務大臣、政府参考人及び参考人東京電力株式会社取締役副社長山崎雅男君に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

[質疑者]

植松恵美子君(民主)、山田俊男君(自民)、
※福岡資麿君(自民)、加藤修一君(公明)、
川田龍平君(みんな)、田村智子君(共産)、
荒井広幸君(日改)、福島みずほ君(社民)

※関連質疑

(平成二十三年度第2次補正予算)

賛成会派 民主、自民、公明、みんな、日改、
社民

反対会派 共産

○平成23年8月11日(木)(第24回)

— 集中審議(懸案事項) —

○予算の執行状況に関する調査のうち、懸案事項に関する件について菅内閣総理大臣、枝野国務大臣、玄葉国務大臣、平野国務大臣、野田財務大臣、海江田経済産業大臣、細川厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、高木文部科学大臣、細野国務大臣、江田法務大臣、松本外務大臣、北澤防衛大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、平岡総務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

大島九州男君(民主)、※平山誠君(民主)、
小坂憲次君(自民)、※有村治子君(自民)、
※西田昌司君(自民)、加藤修一君(公明)、
川田龍平君(みんな)、田村智子君(共産)、
中山恭子君(日改)、福島みずほ君(社民)

※関連質疑

○平成23年8月31日(水)(第25回)

○理事の補欠選任を行った。

○予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成23年2月17日(木)、18日(金)

○平成二十三年度総予算の審査に資するため

〔派遣地〕

大分県、福岡県

〔派遣委員〕

前田武志君(民主)、植松恵美子君(民主)、
川上義博君(民主)、水戸将史君(民主)、
森ゆうこ君(民主)、磯崎陽輔君(自民)、
猪口邦子君(自民)、衛藤晟一君(自民)、
加藤修一君(公明)、小野次郎君(みんな)、
小見山幸治君(民主)、福岡資麿君(自民)、
大門実紀史君(共産)、片山虎之助君(日
改)、福島みずほ君(社民)